

## 第 60 回研究会・事例検討会の紹介

第 60 回研究会は神戸で対面開催し、47 名の方が事例検討会に参加しました。7 つのグループに分かれて、CNS 活動での困りごとや悩み、活動の実際について活発にディスカッションしました。各グループで話し合ったテーマや参加者からの感想をご紹介します。

### 【テーマ】

- トランジショナルケア
- 末期腎不全患者の保存的腎臓療法（Conservative kidney management：CKM）に対する終末期ケア（特に地域も含めて）を充実させるために
- 慢性疾患と精神疾患を持つ人の支援について
- 非がん患者の ACP コンサルテーション事例と教育的取り組みについて
- 腎硬化症による慢性腎臓病を抱える 90 歳代女性への ACP とその家族へのケア
- COPD を持つ 80 歳代男性（在宅酸素療法施行中）が携帯用酸素を持たずに趣味に外出する事例への関わり
- 慢性看護の質を上げる（サブスペシャリティ以外）、ACP のシステム化の取り組み
- 患者本人と医療者の思いの差異－2 型糖尿病を持つ方への在宅療養支援－
- 新しい組織における認定看護師との協働と葛藤

### 【感想】

#### —事例提供者—

- 自施設に CNS は一人であり、認定 3 年目でまだまだ支援に自信が持てない中で日々を過ごしている。事例検討会で支援に迷っていることを共有することで、支援の糸口を掴むことができる。自分への励みにもなり、頑張ろうと思えた。

#### —参加者—

- ACP に関わらず、教育が大切であると実感した。
- 相談してくるスタッフを大切にすることで、周囲に波及効果があるのではないかと感じた（感性を育てる）。
- ACP についてのシステム化や教育に関する議題が多く、これからの課題であると思った。
- 終末期ケア（非がん患者への関わり）について推進していく必要性を感じた。
- 事例検討会を通して今後の方向性が見出せた。